



## 平成 20 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 10 月 31 日

上場会社名 株式会社ノーリツ 上場取引所 東証・大証第 1 部  
 コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>  
 代表者 代表取締役社長兼代表執行役員 神崎 茂治  
 問合せ先責任者 取締役兼常務執行役員 管理本部長 加部 利明 TEL (078) 391-3361

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 12 月期第 3 四半期	129,343	△0.7	830	△27.8	1,211	△28.8	154	60.6
19 年 12 月期第 3 四半期	130,221	△0.1	1,150	△66.0	1,702	△60.8	96	△95.3
19 年 12 月期	180,017	—	2,358	—	3,019	—	△1,208	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 12 月期第 3 四半期	3	23	—	—
19 年 12 月期第 3 四半期	2	01	—	—
19 年 12 月期	△25	26	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20 年 12 月期第 3 四半期	142,266		82,506		57.8		1,718 67	
19 年 12 月期第 3 四半期	146,790		89,665		60.5		1,857 57	
19 年 12 月期	156,682		87,130		55.1		1,804 72	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20 年 12 月期第 3 四半期	6,232		△3,326		△5,841		8,748	
19 年 12 月期第 3 四半期	3,473		△13,825		△550		7,390	
19 年 12 月期	2,756		△18,031		8,846		11,708	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年12月期	14 00	14 00	28 00
20年12月期	14 00	14 00	28 00
20年12月期(予想)			

3. 平成20年12月期の連結業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

平成20年7月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に起因する米国経済の減速や株式・為替市場の変動、原油をはじめとする商品市況の高騰による内需の低迷等により、足元の企業収益が減少傾向にあり景気の後退懸念が強まっております。

住宅設備業界におきましては、建築基準法改正による新設住宅着工数の減少傾向には歯止めがかかってきたものの、需要全体では前年比減少が続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは「創造21計画、第3次中期経営計画」のスタートの年として、国内事業の再構築、海外事業の確立、および新規事業の開発を3つの目標に定め、「エコジョーズ」などの高効率温水機器の拡販、海外における販売拠点の拡大および固定費削減などの経営構造改革に向けた取り組みを進めてまいりました。

しかし、当第3四半期連結会計期間における売上高は、販売体制を強化し売上拡大に努めましたが、需要の減少と販売競争激化の影響をカバーできず1,293億43百万円（前年同期比0.7%減）となりました。また利益面につきましては、売上の減少に加え素材価格高騰の影響もあり、営業利益は8億30百万円（同27.8%減）、経常利益は12億11百万円（同28.8%減）、四半期純利益は1億54百万円（同60.6%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より事業区分を「温水・空調機器」、「住設システム機器」、「厨房機器」、「その他事業」に変更しておりますが、当連結会計年度よりセグメント情報を開示しておりますので、セグメントの業績については前期比較をしておりません。詳細は9ページ 4.（要約）四半期連結財務諸表（5）セグメント情報をご覧ください。

#### ① 温水・空調機器

温水・空調機器分野では、高効率ガス温水機器「エココアGTEコジョーズ」、「エココアGTHエコジョーズ」など環境配慮商品が順調に販売台数を伸ばしました。また本年7月に新規参入したガスファンヒーターも好評で、売上・利益に大きく貢献しております。一方、海外ではこれまで順調に売上を拡大させてきた米国でのガス瞬間式給湯器の販売がサブプライムローン問題の影響もあり計画を下回る結果となりましたが、中国では販売網の拡大により売上を拡大しています。その結果、全体の売上高は913億4百万円、営業利益は16億96百万円となりました。

#### ② 住設システム機器

住設システム機器分野では、販売体制の強化を図り、浴槽自動洗浄機能付システムバス「Riz（リズ）」など独自性のある商品を軸に販売拡大を目指しましたが、競争が激しくシステムバス、システムキッチン、洗面化粧台のいずれも販売台数を減少させ、売上高は148億24百万円、営業損失は10億68百万円となりました。

#### ③ 厨房機器

厨房機器分野では、安全性を追求した全口センサー搭載のSiセンサーコンロ「Sブリンクシリーズ」が着実に売上を拡大しましたが全体的には販売競争の激化、電化の伸長により売上高は166億3百万円、営業損失は3億66百万円となりました。

#### ④ その他事業

その他事業では、エレクトロニクス関連部品等の販売が拡大し、売上高は69億95百万円、営業利益は5億68百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産残高は、1,422億66百万円（前連結会計年度末比144億15百万円減）となりました。流動資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したこと等により725億51百万円（同82億67百万円減）となりました。また、固定資産は、投資有価証券が減少したこと等により697億15百万円（同61億48百万円減）となっております。

負債につきましては、支払手形及び買掛金や短期借入金が減少したこと等により597億59百万円（同97億92百万円減）となりました。また純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の減少等により825億6百万円（同46億23百万円減）となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少、仕入債務の減少等により62億32百万円となり、投資活動においては有形固定資産の取得等に33億26百万円の資金を使用いたしました。また財務活動においては、借入金の返済等に58億41百万円の資金を使用いたしました。これらの結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末の残高は87億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて29億60百万円減少いたしました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

先行きの経営環境は、米国のサブプライムローン問題に端を発したグローバル金融市場の混乱による欧米経済の減速懸念、個人消費低迷の長期化、また、さらなる競合の激化も見込まれ、より一層厳しい状況で推移するものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループは高効率ガス温水機器「エコジョーズ」など高機能商品の拡販、システムバス、システムキッチンなど住設システム品の増量に向け販売体制の強化に努めてまいります。あわせて、製品・施工・アフターサービスでの品質確保を徹底するとともに、長期間使用機器の診断、取替促進に向けた活動を推進してまいります。また、海外では米国、中国を中心に販売網の拡充、競争力ある新商品の市場投入、アフターサービス・設置・施工機能ネットワークの整備など売上拡大のための諸施策を展開してまいります。

平成20年度（平成20年12月期）の通期の見通しは、売上高1,830億円（前期比1.7%増）、営業利益35億円（同48.4%増）、経常利益42億円（同39.1%増）、当期純利益20億円（前期は当期純損失12億8百万円）を見込んでおります。

なお、上記通期見通しは平成20年7月28日発表の業績予想から変更はありません。

## 4. その他

### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### （2）会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が軽微なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

### （3）最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4.（要約）四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	前年第3四半期末 (平成19年9月30日)		当第3四半期末 (平成20年9月30日)		増 減		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
<b>(資産の部)</b>		%		%		%		%
<b>I 流動資産</b>	70,817	48.2	72,551	51.0	1,733	2.4	80,818	51.6
現金及び預金	7,750		9,337		1,587		11,904	
受取手形及び売掛金	42,565		40,969		△1,596		48,451	
有 価 証 券	2,272		2,931		659		2,268	
たな卸資産	12,200		14,019		1,818		12,871	
そ の 他	6,028		5,292		△736		5,322	
<b>II 固定資産</b>	75,973	51.8	69,715	49.0	△6,257	△8.2	75,863	48.4
有形固定資産	34,261		32,366		△1,894		32,877	
無形固定資産	2,995		3,149		153		3,229	
投資その他の資産	38,715		34,199		△4,516		39,756	
<b>資産合計</b>	146,790	100.0	142,266	100.0	△4,524	△3.1	156,682	100.0
<b>(負債の部)</b>								
<b>I 流動負債</b>	44,696	30.4	47,686	33.5	2,990	6.7	57,183	36.5
支払手形及び買掛金	30,818		30,373		△444		34,072	
短期借入金	1,761		6,598		4,836		11,190	
そ の 他	12,115		10,714		△1,401		11,919	
<b>II 固定負債</b>	12,428	8.5	12,073	8.5	△355	△2.9	12,368	7.9
退職給付引当金	8,184		7,599		△585		8,118	
そ の 他	4,243		4,473		230		4,250	
<b>負債合計</b>	57,124	38.9	59,759	42.0	2,635	4.6	69,552	44.4
<b>(純資産の部)</b>								
<b>I 株主資本</b>	86,127	58.7	83,633	58.8	△2,494	△2.9	84,820	54.1
資 本 金	20,167		20,167		—		20,167	
資 本 剰 余 金	22,956		22,956		—		22,956	
利 益 剰 余 金	48,058		45,569		△2,489		46,754	
自 己 株 式	△5,056		△5,060		△4		△5,058	
<b>II 評価・換算差額等</b>	2,746	1.9	△1,408	△1.0	△4,155	—	1,523	1.0
その他有価証券評価差額金	2,291		△1,642		△3,934		1,009	
繰延ヘッジ損益	—		△37		△37		—	
為替換算調整勘定	455		271		△184		514	
<b>III 少数株主持分</b>	791	0.5	282	0.2	△509	△64.4	785	0.5
<b>純資産合計</b>	89,665	61.1	82,506	58.0	△7,159	△8.0	87,130	55.6
<b>負債・純資産合計</b>	146,790	100.0	142,266	100.0	△4,524	△3.1	156,682	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	前年第3四半期 (平成19年1月1日～ 平成19年9月30日)		当第3四半期 (平成20年1月1日～ 平成20年9月30日)		増 減		(参考) 前連結会計年度 (平成19年1月1日～ 平成19年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
		%		%		%		%
I 売上高	130,221	100.0	129,343	100.0	△878	△0.7	180,017	100.0
II 売上原価	92,044	70.7	92,343	71.4	298	0.3	127,248	70.7
売上総利益	38,177	29.3	37,000	28.6	△1,176	△3.1	52,768	29.3
III 販売費及び一般管理費	37,026	28.4	36,169	28.0	△856	△2.3	50,410	28.0
営業利益	1,150	0.9	830	0.6	△320	△27.8	2,358	1.3
IV 営業外収益	924	0.7	1,106	0.9	182	19.7	1,340	0.7
受取利息及び受取配当金	302		304		2		441	
そ の 他	621		801		179		898	
V 営業外費用	372	0.3	725	0.6	352	94.6	678	0.4
支 払 利 息	60		100		40		57	
そ の 他	312		624		312		621	
経常利益	1,702	1.3	1,211	0.9	△490	△28.8	3,019	1.6
VI 特別利益	1	0.0	2	0.0	0	15.4	2	0.0
VII 特別損失	1,131	0.9	177	0.1	△954	△84.4	3,717	2.0
税金等調整前四半期 純利益又は当期純損失(△)	572	0.4	1,036	0.8	464	81.1	△695	△0.4
法人税、住民税及び事業税	736	0.5	690	0.6	△45	△6.2	1,258	0.7
法人税等調整額	△269	△0.2	155	0.1	425	—	△749	△0.4
少数株主利益	9	0.0	35	0.0	25	262.4	4	0.0
四半期純利益又は当期純損失(△)	96	0.1	154	0.1	58	60.6	△1,208	△0.7

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間（平成20年1月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年12月31日残高	20,167	22,956	46,754	△5,058	84,820	1,009	—	514	1,523	785	87,130
当四半期中の変動額											
剰余金の配当			△1,339		△1,339						△1,339
四半期純利益			154		154						154
自己株式の取得				△2	△2						△2
自己株式の処分		△0	△0	0	0						0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額（純額）						△2,651	△37	△243	△2,932	△503	△3,436
当四半期中の変動額合計	—	△0	△1,185	△1	△1,187	△2,651	△37	△243	△2,932	△503	△4,623
平成20年9月30日残高	20,167	22,956	45,569	△5,060	83,633	△1,642	△37	271	△1,408	282	82,506

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前年第 3 四半期 (平成 19 年 1 月 1 日～ 平成 19 年 9 月 30 日)	当第 3 四半期 (平成 20 年 1 月 1 日～ 平成 20 年 9 月 30 日)	(参考) 前連結会計年度 (平成 19 年 1 月 1 日～ 平成 19 年 12 月 31 日)
		金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期純利益又は当期純損失 (△)		572	1,036	△695
減 価 償 却 費		3,905	4,712	5,970
売上債権の減少額		7,710	7,204	1,874
たな卸資産の増加額		△ 1,797	△ 1,415	△ 2,474
仕入債務の減少額		△ 6,857	△ 3,382	△ 3,623
退職給付引当金の減少額		△ 367	△ 519	△ 434
その他の		2,184	△ 673	3,599
小 計		5,349	6,962	4,216
利息及び配当金の受取額		288	312	443
利息の支払額		△ 52	△ 94	△ 55
法人税等の支払額		△ 2,112	△ 948	△ 1,847
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>3,473</b>	<b>6,232</b>	<b>2,756</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金の預入による支出		△ 2,983	—	△ 2,763
有価証券の取得による支出		△ 5,964	△ 510	△ 9,396
有価証券の売却・償還による収入		2,005	1,602	2,525
有形固定資産の取得による支出		△ 5,984	△ 4,132	△ 7,692
その他の		△ 898	△ 286	△ 704
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△ 13,825</b>	<b>△ 3,326</b>	<b>△ 18,031</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増加額 (純減少額)		802	△4,498	10,201
自己株式の取得による支出		△ 6	△ 2	△ 8
親会社による配当金の支払額		△ 1,342	△ 1,339	△ 1,342
その他の		△ 4	△ 0	△ 3
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△ 550</b>	<b>△ 5,841</b>	<b>8,846</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		<b>235</b>	<b>△ 24</b>	<b>78</b>
<b>V 現金及び現金同等物の減少額</b>		<b>△ 10,667</b>	<b>△ 2,960</b>	<b>△ 6,349</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>		<b>17,323</b>	<b>11,708</b>	<b>17,323</b>
<b>VII 非連結子会社の連結に伴う現金及び現金同等物の増加高</b>		<b>734</b>	<b>—</b>	<b>734</b>
<b>VIII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高</b>		<b>7,390</b>	<b>8,748</b>	<b>11,708</b>



(5) セグメント情報

当社グループは、前連結会計年度までは単一のセグメントとしておりましたが、迅速な経営意思決定を行うため、従来採用していた機器別の事業区分を細分化しました。さらにこれに伴い業績管理のためのシステムを整備したことから、当連結会計年度より事業の種類別セグメント情報を開示しております。

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（平成20年1月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円、端数切捨て）

	温 水 ・ 空 調 機 器	住 設 シ ス テ ム 機 器	厨 房 機 器	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	90,920	14,824	16,603	6,995	129,343		129,343
(2)セグメント間の内部売上又は振替高	384	—	—	—	384	(384)	—
計	91,304	14,824	16,603	6,995	129,727	(384)	129,343
営 業 費 用	89,608	15,892	16,969	6,427	128,897	(384)	128,513
営業利益(△損失)	1,696	△1,068	△366	568	830	—	830

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分の主要な事業内容

事 業 区 分	主 要 製 品
温 水 ・ 空 調 機 器	ガス温水関連機器（ガスふろ給湯器、ガス給湯器、ガスふろがま、ガス温水暖房機） オイル・空調関連機器（石油ふろ給湯器、石油給湯器、石油温水暖房機、太陽熱温水機器、暖房端末機器） 外注工事関連、修理サービス
住 設 シ ス テ ム 機 器	システムバス、システムキッチン、洗面化粧台、浴槽、温水洗浄便座、ろ過システム 外注工事関連、修理サービス
厨 房 機 器	コンロ、食器洗浄乾燥器、オーブンレンジ、小型湯沸器 外注工事関連、修理サービス
そ の 他 事 業	コンポーネント事業関連部品、新規事業

3. 事業区分の変更

前連結会計年度まで内部管理上採用している事業区分は、「温水・空調関連機器」、「浴室・厨房関連機器」、「その他事業」の3分類に区分しておりましたが、当連結会計年度より「温水・空調機器」、「住設システム機器」、「厨房機器」、「その他事業」の4分類に変更いたしました。

前年第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度についてはセグメント情報を開示しておりませんので記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自平成19年1月1日 至平成19年9月30日）、当第3四半期連結会計期間（自平成20年1月1日 至平成20年9月30日）及び前連結会計年度（自平成19年1月1日 至平成19年12月31日）については、全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間（自平成19年1月1日 至平成19年9月30日）、当第3四半期連結会計期間（自平成20年1月1日 至平成20年9月30日）及び前連結会計年度（自平成19年1月1日 至平成19年12月31日）における海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

5. その他

販売実績

（単位：百万円、端数切捨て）

品 目	前年第3四半期 (平成19年1月1日～ 平成19年9月30日)		当第3四半期 (平成20年1月1日～ 平成20年9月30日)		(参考) 前連結会計年度 (平成19年1月1日～ 平成19年12月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
温水・空調機器	90,306	69.3	90,920	70.3	124,303	69.1
住設システム機器	17,177	13.2	14,824	11.5	22,914	12.7
厨房機器	16,924	13.0	16,603	12.8	24,716	13.7
その他事業	5,814	4.5	6,995	5.4	8,084	4.5
合 計	130,221	100.0	129,343	100.0	180,017	100.0

当連結会計年度から事業の種類別セグメント情報を開示しておりますが、前第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度分は、当第3四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント区分に組み替えて表示しております。